

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 <input type="checkbox"/> 位置付けられている計画等または該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。											整理番号	062							
事務事業名	防災無線経費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単			終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算	会計名	一般会計		款	項	目	事業
担当部	市長公室		担当課	防災危機管理課		担当係	危機管理係					9	1	5	2				
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画		<input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」		<input type="checkbox"/> 常総市復興計画		<input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望		根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 災害対策基本法)		<input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:)		<input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)				

2 事務事業の概要 <input type="checkbox"/> 予算事業全体について記入して下さい。										
対象	市民・避難行動要配慮者施設・指定避難所など				内容・手段		戸別受信機を導入し、1つの操作で防災行政無線や防災アプリ等多数の媒体に情報を伝達する手段を確保する。			
目的	市民が、災害情報を受け取ることができる環境を整備し、逃げ遅れゼロと早期の安否確認につながる情報伝達体制を構築する。									

3 事務事業の主たる成果指標 <input type="checkbox"/> 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。												
指標名	防災行政無線の難聴報告		単位	件	目標値	0	目標年次	令和6	年度	指標及び目標値設定の考え方 (または設定できない理由)	戸別受信機の導入により、これまであった「聞こえない」「聞き取りにくい」ゼロを目指す。	

4 事務事業の実績 ①				2年間の主な事業内容(実績)									
平成29年度				前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
決算額	内訳	特定財源	0	防災行政無線保守点検 防災無線テレホンサービス回線使用 防災アプリ保守管理 移動系無線運用 防災情報に関するアンケート実施					防災行政無線保守点検 防災無線テレホンサービス回線使用 防災アプリ保守管理 移動系無線運用 防災行政無線子局の移設 防災情報に関するアンケートの活用 データ分析 (情報取得手段と年齢構成・戸別受信機の希望など) 分析結果をシンポジウムで解説 戸別受信機と防災ラジオの比較検討				
13,192,851	円	一般財源	13,192,851	目標に対する実績値					100				
			円	(住民一人あたりの行政コスト)					218				
平成30年度				今年度(令和元年度)									
決算額	内訳	特定財源	0	目標に対する実績値					100				
14,203,359	円	一般財源	14,203,359	(住民一人あたりの行政コスト)					237				
令和元年度				今年度(令和2年度)									
決算額	内訳	特定財源	0	目標に対する実績値					100				
18,347,201	円	一般財源	18,347,201	(住民一人あたりの行政コスト)					308				

5 担当課評価 ③ <input type="checkbox"/> 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	ほぼ目標どおり
成果内容分析	平成30年に行った防災アンケートの結果の分析や市民からの問い合わせから戸別受信機の要望が高いことは、明らかになった。分析結果の公表や調査中の特質すべき点についても、分析に協力していただいた東北大学より講師を派遣し、解説してもらった。
課題	戸別受信機と防災ラジオの比較検討を行ってきたが、導入する方式の決定には至らなかった。

6 担当部長評価 ④ <input type="checkbox"/> 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	引き続き、市に寄せられるクレームの大半は、防災無線の難聴である。戸別受信機に対する要望についても、年々増加している印象がある。今後、大規模地震の発生確率が高まっていることや、年々台風の勢力も大規模化しているなどから、戸別受信機の整備は必要である。

7 実施計画 ⑤ <input type="checkbox"/> 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。											
年度	令和2年度				令和3年度				令和4年度		
事業内容	防災行政無線保守点検 防災無線テレホンサービス回線使用 防災アプリ保守管理 移動系無線運用 防災行政無線子局の増設				防災行政無線保守点検 防災無線テレホンサービス回線使用 防災アプリ保守管理 移動系無線運用 戸別受信機の導入 通信局整備 既存周波数帯との接続 住民への機器申請告知と受付				防災行政無線保守点検 防災無線テレホンサービス回線使用 防災アプリ保守管理 移動系無線運用 戸別受信機の保守管理		
	目標に対する実績値				目標に対する実績値				目標に対する実績値		
	50				10				5		
	(住民一人あたりの行政コスト)										

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。今後、大規模な自然災害の発生確率が高まることが予測されており、災害関連の情報は確実に市民へ届かなければならない。そのためには、受益者負担も検討しながら、防災行政無線と併せて戸別受信機などの情報伝達手段を整備していただきたい。	

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑥	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	大規模災害が多発する中、災害情報を市民へいち早く提供することが必須であり、その情報伝達手段を多種多様とすることで市民に正しく伝わる確率も高くなる。このような観点から個別受信機や防災ラジオなど様々なツールを検討し、積極的に導入されたい。

10 事務事業の改善点と理由 ⑦ <input type="checkbox"/> 実施計画のみ作成する場合も記入してください。																		
成果指標	指標名	防災行政無線の難聴報告	単位	件	目標値	50	指標名	防災行政無線の難聴報告	単位	件	目標値	10	指標名	防災行政無線の難聴報告	単位	件	目標値	5
予算額	歳出	計			24,320	千円	歳出	計			231,000	千円	歳出	計			31,000	千円
		特定財源			0	千円		特定財源			200,000	千円		特定財源			0	千円
	歳入	一般財源			24,320	千円	歳入	一般財源			31,000	千円	歳入	一般財源			31,000	千円
		計			24,320	千円		計			231,000	千円		計			31,000	千円

事業内容	
------	--